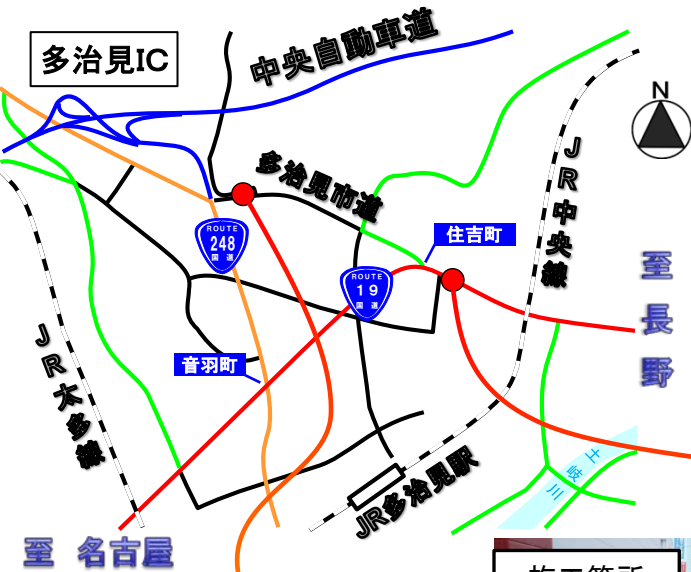


地場産リサイクル材を使用した舗装で「暑さを吹き飛ばせ」

多治見砂防国道事務所
多治見市

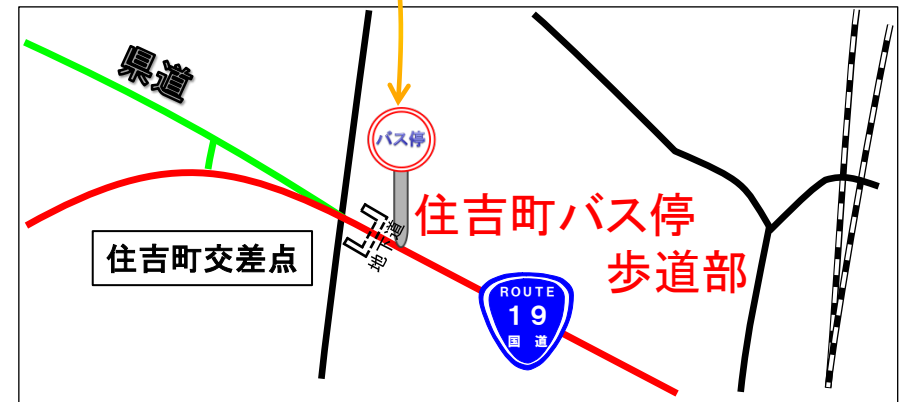
至
可
見



施工実施日 : 平成 24年 9月 11日(火)

施工場所 : 国道19号 住吉町バス停歩道部
多治見市道 金岡町バス停歩道部

施工内容 : 環境配慮型舗装
L=約10m

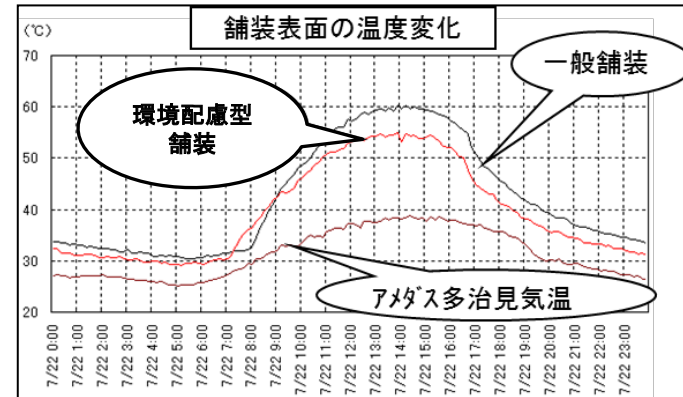


地場産リサイクル材を使用した舗装で「暑さを吹き飛ばせ」

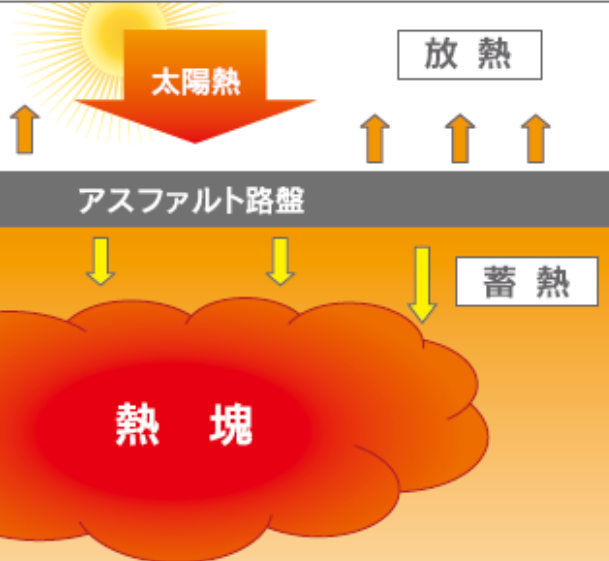
環境配慮型舗装とは・・・

① 太陽熱を地表面で空中へ反射させることにより、地中に熱がたまりにくくすることで、気温上昇を抑える効果を持っている舗装です。
一般舗装の舗装表面温度と比較すると、約5℃程度の温度低下が見込まれます。

② 多治見の地場産業である窯業から出される「タイルセルベン」(商品価値のなくなった新品タイルを破碎処理したもの)をリサイクル材として使用しています。



路盤の下に「熱の塊」(蓄熱)ができる!



環境配慮型舗装 = (A) + (B)

